

# 農とくらしを支える助けあいを、もっと。



**こんにちは！  
JAです。**

JAのこれからを一緒に考えるこの連載。今回は、「相互扶助（助けあい）」のもと、農とくらしの総合事業を営むJAの継続した仲間づくりについて考えてみましょう。

## これからも、わたしたちのそばに

JA事業を利用する組合員が安心して世代交代ができるよう、また次世代の組合員が安心して営農・生活設計を立てられるよう、JAは農業構造の変化に対応したさまざまな取り組みを展開して、JA事

業を継続して利用してもらえるようにしています。JAはわたしたち組合員の出資金で運営される協同組合であり、わたしたちの声はJA事業運営に反映されているのです。

## 仲間づくりを 地域全体で

ファーマーズ・マーケットや介護・医療などのJAの事業を利用する消費者が増えています。また、不透明な時代だからこそ、協同組合であるJAに興味を持つ消費者も増えています。地域に根ざした事業を展開するJAだからこそ、地域のたくさんの人が仲間（組合員）になることで地域が活性化され、そのなかでJAは地域の明日を創る存在になっていくのです。